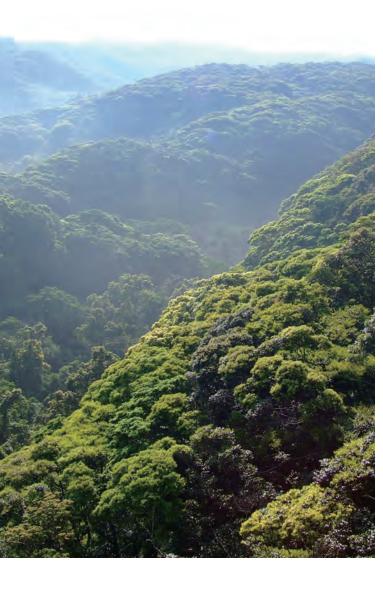
やんばる 国立公園





連絡先一覧

環境省沖縄奄美自然環境事務所

〒900-0022 沖縄県那覇市樋川1-15-15 那覇第一地方合同庁舎1階 | TEL | 098-836-6400 | FAX | 098-836-6401 URL | http://kyushu.env.go.jp/naha/

環境省やんばる自然保護官事務所

(やんばる野生生物保護センター ウフギー自然館内) 〒905-1413 沖縄県国頭郡国頭村字比地263-1 | TEL | 0980-50-1025 | FAX | 0980-50-1026 URL | http://www.env.go.jp/park/yambaru/index.html

やんばるでは、ヤンバルクイナやケナガネズミなどのロードキルが 多発しています。

傷ついているヤンバルクイナ、ケナガネズミなどを見つけたら、 下記連絡先までお電話ください。

傷ついている・死んでいる希少種を見つけたとき 環境省やんばる自然保護官事務所 TEL | 0980-50-1025

傷ついている希少種を見つけたとき クイナダイヤル(NPO法人 どうぶつたちの病院沖縄) | TEL | 090-6857-8917

やんばるでは、ゆっくり運転を心がけましょう。



発行者:環境省 発行年:2020年 改訂:2022年

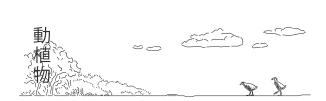
※ 見どころ案内マップは、指定区域の概要を示すために作成したものであり、 誤差があることを考慮した上でご利用ください。



国立公園は、日本を代表する自然の風景地として、自然 公園法に基づいて国が指定するものです。

北は北海道から南は沖縄、小笠原諸島まで34の国立公 園が指定されており、年間3億人以上が利用しています。 国立公園内は、自然の絶景だけではなく、野生の動植物、 歴史文化などの魅力の宝庫です。日本の国立公園は、森林、 農地、集落など多様な環境が含まれていることが特長で す。ほとんど手つかずの自然が残されているところがあ る一方で、自然と人の暮らしが織りなす地域の歴史や文 化にふれることができます。

是非、実際に国立公園を訪れ、四季折々に変化する日本 の美しい自然を満喫してください。



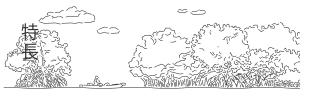
やんばる地域にはヤンバルクイナ、ノグチゲラ、ケナガ ネズミ、オキナワトゲネズミ、オキナワイシカワガエル、 ヤンバルテナガコガネなどの固有種が生息しています。 一部高標高地では雲霧林が発達し、着生のシダ植物やオ キナワセッコクなどのラン科植物が生育します。河川上 流から中流の渓流沿いには、熱帯・亜熱帯に特徴的な渓 流植物が分布し、さらにやんばる地域に固有な両生類の 産卵・生息環境にもなっています。スダジイやオキナワ ウラジロガシなどの広葉樹は生長して大径化が進むと幹 に空洞ができ、さらに年月を経ると樹洞ができます。ノ グチゲラやケナガネズミ、ヤンバルテナガコガネ等はこ れらの環境を利用し、大径木が多く生育する森林に依存 しています。









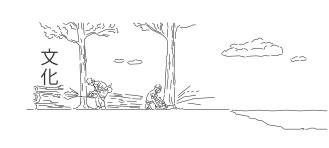


亜熱帯の森やんばる 多様な生命育む山と人々の営み

やんばる地域には、国内最大級の亜熱帯照葉樹林が広が り、琉球列島の形成過程を反映して形成された島々の地 史を背景にヤンバルクイナなど多種多様な固有動植物及 び希少動植物が生息・生育し、石灰岩の海食崖やカルス ト地形、マングローブ林など多様な自然環境を有してい ます。また、このような自然環境の中での日々の暮らし で育まれてきた伝統的なやんばるらしさが息づく人文景 観が特長です。これらの自然・人文景観が評価され、や んばる国立公園は平成28年9月15日に33番目の国立 公園として指定されました。また、国立公園の一部は、 その生物多様性が世界的にも認められ、令和3年7月2 6日に「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」と して世界自然遺産に登録されています。やんばる国立公 園では、このような亜熱帯の大自然を舞台に、景勝地め ぐり、トレッキング、カヌー、川遊び、ドライブなどの レジャーが盛んに行われており、訪れる公園利用者へ良 質な自然とのふれあいの場・機会を提供しています。

[指定年月日] 平成28年9月15日 「面積] 17.352ha(陸域のみ) 「関係都道府県] 沖縄県





琉球王府時代から近年まで、やんばる地域は薪炭や都城 の建設・船などの用材となる林産物の生産・供給の場と して重要な役割を果たしてきました。昭和に入るまでは 海上輸送が主流で、沖縄島中南部との間で「山原船」に よる交易が盛んに行われました。国頭地域から首里王府 へ重い材木を多人数で運ぶ時の歌は、クンジャンサバク イ (国頭木遣音頭) として伝えられています。山で薪炭 や琉球藍づくりなどの生業が営まれていた名残として、 現在も各所に、炭窯や藍つぼの跡が残っています。 海と山に囲まれたやんばる地域の集落では、海と山を一 体として捉え、一つの空間から自然の恵みを受けている という空間認識が見られます。それを特徴づけるのが祭 祀で、集落の邪気を払い豊作・豊漁を祈願するシヌグや 海神(ウンジャミ・ウンガミ)祭などはこれを象徴的に 表しており集落の伝統として受け継がれています。

















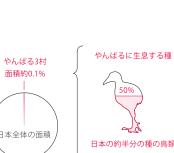
「やんばる(山原)」とは、「山々が連なり森の広がる地域」を意味する言葉で、

亜熱帯照葉樹林の森が広がっている沖縄島北部を指しています。 特に、国頭村、大宜味村、東村を中心とする一帯はノグチゲラやヤンバルクイナをはじめとする多くの固有種が生息し、 生物学的にまとまりのある森林が比較的健全な状態で残っています。

—— 生物多様性 ——

やんばる地域には、わずかな面積の中にたくさんの種類 の生き物が生息しています。実に多様でユニークなたく さんの種類の生き物たちが、互いに密接につながりあい ながら複雑な生態系を作りあげています。

国頭村、大宜味村、東村は、日本全体の0.1%にも満た ない狭い面積しかありませんが、日本全体で確認されて いる生物の種数に対して、鳥類では約半分、在来のカエ ルのうち約1/4の種類が確認されるなど、高い割合を占 める動植物種が生息・生育しています。



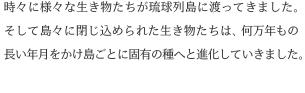
日本の約半分の種の鳥類

--- 亜熱帯照葉樹 ---

やんばる地域は北緯27度付近に位置します。世界の同 緯度の亜熱帯地域では砂漠や乾燥地帯などが多く、森林 がある地域はやんばるを含めごくわずかです。琉球列 島は赤道直下から流れてくる黒潮と、梅雨前線や台風に より暖かく雨の多い亜熱帯海洋性の気候となっています (年間降雨量約2,500 mm)。この気象環境がやんばるの 豊かな森を作り、その森が多くの生物を育んできました。 やんばる地域における森林率は80%以上で、最も広い 面積を占めている自然植生は、スダジイやオキナワウラ ジロガシなどのブナ科植物で代表される亜熱帯常緑広葉 樹林です。







---- 島の成り立ち ----

琉球列島は新生代の新第三紀(約2,300万年から170万

年前) 以降の激しい地殻変動により、大陸や日本本土と

陸続きになったり離れたりを繰り返してきました。その

— 外来種対策 —

やんばる地域には多くの外来種が侵入しており、生態系 への影響が懸念されています。やんばるの生き物たちは、 固有の環境で進化してきたので、外来生物から身を守る すべを持っていません。そのため、人によって持ち込ま れたマングースや野外で生活するイヌやネコ、ツルヒヨ ドリなどの外来植物は、やんばる地域の生態系への大き な脅威になっています。また、タイワンスジオやタイワ ンハブなどの新たな外来生物の侵入も危ぶまれており、 既に侵入している外来生物の防除事業と同時に、地域と 協力した監視体制の構築に取組んでいます。

--- 希少野生生物の保護増殖 ---

ヤンバルクイナ、ノグチゲラ、ヤンバルテナガコガネの 3種について、保護増殖事業計画に基づき生息状況の調 査等を行っています。ヤンバルクイナの飼育下での繁殖 技術の確立に向けた取り組みも実施しています。

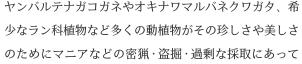












のためにマニアなどの密猟・盗掘・過剰な採取にあって おり、法律等で捕獲・採取が禁止されている種もいます。 違法ではなくても、気軽な気持ちでの採取・持ち帰り等 が積み重なって大きな影響を及ぼすことがあります。密 猟や盗掘を防ぐため、地域の人たちと協力して林道のパ トロールを行っています。

--- ロードキル対策 ---

やんばる地域ではヤンバルクイナをはじめ様々な生き物

たちが交通事故に遭っています。特に県道2号線・70

号線はカーブの多い山道でロードキル (交通事故などに

より道路で野生動物が死亡すること) が多く発生してい

ます。生き物が飛び出してきてもよけられるスピードで

の、生き物にやさしい運転を呼びかける事故防止キャン

ペーンを行っています。また、ケガをした生き物の救護

―― 密猟・盗掘防止パトロール ――

などを関係機関・団体と連携して実施しています。









集落や拝所等には立ち入らない

国立公園の利用上のマナー

多くの方に楽しく利用していただくために、 国立公園内では自然を大切にすることを心がけ、 次のことを守ってください。



植物や昆虫などを採らない



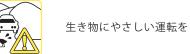
野生動物に餌を与えない



ゴミは捨てない



キャンプ場等以外で火を使わない





ハブなどの危険生物に注意



外来生物を持ち込まない



沖縄本島最北端に位置し、隆起したサンゴ礁の断崖絶壁から太平洋 と東シナ海の海原を一望することができます。好天の日は、鹿児島県 の与論島や沖永良部島を望むことができます。

02 | 大石林山



2億5千万年前の石灰岩層が隆起してできたカルスト地形に位置し トレッキングやガジュマルなどの亜熱帯植物の観察、雄大な景観を 楽しむことができます。

03 | 国頭村環境教育センター やんばる学びの森 | [3]



沖縄本島最高峰(標高503m)の山です。登山道はゆるやかで、道中で はやんばるの森の美しさや、生き物の多様性を感じることができま す。ガイドを同行した利用が推奨されています。

06 塩屋湾

05 | 与那覇岳



沖縄八景のひとつに選定されている景勝地です。塩屋湾で行われる 豊年祈願行事「ウンガミ(海神祭)」は1997年に国の重要無形民俗文 化財に指定されています。

07 | ター滝



平南川の上流にある落差10m程度の滝です。シダ植物など亜熱帯特 有の植物が見られ、リュウキュウハグロトンボやテナガエビなど多 くの生き物たちを観察することができます。

04 | 比地大滝



照葉樹林に囲まれ野生動植物を観察することができ、やんばるの森

の豊かさを感じられる場所です。ネイチャートレイルでのガイド

ウォークや、カヌーツアー、バードウォッチングツアーなどが提供さ

沖縄本島一の落差を誇る滝です。滝までのトレッキングでは、ヒカゲ ヘゴやイルカンダなど亜熱帯特有の植物やノグチゲラやホントウア カヒゲなどを観察することができます。

08 | 慶佐次湾のヒルギ林



慶佐次川河口約10haに広がる、沖縄本島最大のヒルギ林(マング ローブ)です。ヒルギ林を観察しながらのトレッキングや、カヌーを 楽しむことができます。

やんばる野生生物保護センター

Information 施設案内

ウフギー自然館 〒905-1413 沖縄県国頭郡国頭村字比地263-1 [TEL]0980-50-1025 やんばる国立公園の魅力である生物多様性の豊か さとその保全の取組などを学べる施設です。



ヤンバルクイナ生態展示学習施設 C2 〒905-1503 沖縄県国頭郡国頭村字安田1477-35 [TEL]0980-41-7788 世界で唯一、やんばるの固有種であるヤンバルクイナが飼育、展示されている施設です。



やんばるの森ビジターセンター 〒905-1318 沖縄県国頭郡大宜味村字津波95番地 [TEL] 0980-44-2233 やんばる国立公園の魅力である生物多様性の豊か さや、やんばるの人の暮らしなどを360°ドームシア ターなどで学べる施設です。



東村立 山と水の生活博物館 〒905-1203 沖縄県国頭郡東村字川田61-1 [TEL]0980-51-2828 やんばるの自然や人々の暮らしについて学べる施 設です。ジオラマや剥製のほかハブやリュウキュウ アユの生態も展示されています。



やんばる3村観光案内所 〒905-1412 沖縄県国頭郡国頭村字奥間1569-1 [TEL] 0980-41-2420 ・ やんばる3村内の観光や食事、宿泊などを案内して いる施設です。



辺戸岬観光案内所 〒905-1421 沖縄県国頭郡国頭村字辺戸973-5 [TEL] 0980-43-0977 沖縄本島最北端の観光案内所で、施設からは辺戸岬 や辺戸の山々を一望できます。



道の駅やんばるパイナップルの丘安波 C3 〒905-1504 沖縄県国頭郡国頭村字安波1089-7 [TEL] 0980-43-5115 お土産コーナーやカフェ、森の生きものたちを観察 する観察棟のほか、コワーキングスペースもある、 やんばるの自然を堪能できる施設です。



〒905-1204 沖縄県国頭郡東村字平良550-23 TEL]0980-43-2270 特産品の販売やレストランがあり、「やんばる」ドラ イブの休憩所として、多くの観光客が訪れる憩いの 施設です。

道の駅サンライズひがし

※開館時間などについて詳しくは各施設にお問い合わせください。

Access 交通アクセス

羽田空港 飛行機 約150分 那覇空港 レンタカー 約120分 やんばる野生生物保護センター ウフギー自然館

※アクセスルートは一例です。各区間の所要時間は目安です。 詳しくは各交通機関の窓口・ホームページなどでご確認ください。

